

平成20年度2次補正予算のポイント

平成20年度国土交通省関係2次補正予算追加額 総計

国 費 2, 201億円

「安心実現のための緊急総合対策」（8月29日）以後の新たな事態に対応するため、新しい経済対策「生活対策」が取りまとめられたことを受け、国民の生活の安全・安心の確保や地方が「底力」を発揮できるよう、地域経済の活性化や住宅投資・防災強化などを進める。

1. 金融・経済の安定強化 国 費 13億円

◇中小・小規模企業等支援対策 国 費 13億円

○建設業の資金調達の円滑化 国 費 13億円

・「地域建設業経営強化融資制度」の活用

2. 地方の底力の発揮 国 費 2, 188億円

(1) 地域活性化対策 国 費 830億円

○観光立国の推進 国 費 0.5億円

・観光圏の整備促進による魅力ある観光地づくりの支援

○地域建設業の新分野への進出や他産業との連携事業等の支援 国 費 35億円

・地域建設業の人材、資機材等を活用し、他産業と連携しながら地域の活力向上に資する事業の支援

○安全・安心な歩行・交通空間の確保 国 費 53億円

・通学路や交差点などにおける交通安全対策
・鉄道駅のバリアフリー化の推進
・地域バスの利便性向上
・LRTプロジェクトの推進

等

○交通ネットワークの整備 国 費 741億円

・地方の活力向上と国際競争力に資する道路ネットワーク整備
・都市鉄道の整備等
・貨物運送における中小・小規模企業対策
・羽田空港や一般空港の機能高質化等
・スーパー中枢港湾の整備
・安全な海上交通路の整備

等

(2) 住宅投資・防災強化対策 **国費** **1,358億円**

○集中豪雨・震災対策 **国費** **939億円**

- ・集中豪雨、地震等により被災した地域の再度災害防止等
- ・密集市街地の再編等都市の防災機能の向上
- ・住宅・建築物耐震改修事業による耐震化の促進
- ・気象施設の整備 等

○長寿命化等の保全対策 **国費** **184億円**

- ・道路、河川、下水道、港湾等老朽化の進む社会資本ストックの緊急点検と戦略的維持管理の推進等

○住宅投資 **国費** **145億円**

- ・地域の木造住宅市場の活性化等に向けたモデル事業等の推進
- ・既存住宅・建築物ストックの省エネ改修緊急促進事業の推進
- ・地方都市などにおける優良な都市開発プロジェクトへの支援
- ・改正建築士法及び住宅瑕疵担保履行法等の本格施行に対応したサポートセンターの設置等への緊急支援
- ・地域における不動産の証券化・流動化の促進 等

※このほか、住宅ローン減税の拡充・延長等

○官庁施設の耐震化等防災対策 **国費** **90億円**

- ・官庁施設の耐震化及びグリーン化の推進

3. 国庫債務負担行為（ゼロ国債）

- ・公共事業の発注平準化措置として、いわゆるゼロ国債（当該年度の支出はゼロであるが、年度内に契約発注が可能）により効率的な執行を促進

事業費 **2,472億円**

※ このほか、高速道路料金の大幅引下げ措置（国費5,000億円）等の追加がある。